



安曇野にゆかりの書が寄贈される

9/27 川端康成の書などが市へ寄贈

ノーベル賞作家・川端康成の書など2点が9月27日、市に寄贈されました。寄贈したのは、鳥羽泰子さんと鳥羽泰之さん(松本市)です。昭和45年、安曇野を訪れた川端康成・井上靖・東山魁夷の3人が宿泊した旅館を、泰子さんと姉で泰之さんの母、節子さん(故人)が当時経営しており、書はお礼として贈られました。来訪後40年がたち、ゆかりのある市に今回、寄贈したものです。市では、書を穂高交流学習センター・みらいで公開し、将来は新しい市本庁舎に飾る予定です。



ダニエル流 食と健康とは

9/23 市民大学講座 特別編

市民大学講座特別編の1回目が9月23日、堀金総合体育館サブアリーナで開催されました。講師には山形弁研究家で、テレビなどで食のリポーターとして活躍するダニエル・カールさんが「食と健康」をテーマに講演しました。ダニエルさんは、時折ユーモアを交えながら「長野県は自然が豊かで、野菜や果物がとてもおいしい。謙遜せず、もっと自慢してはどうか」と会場に集まった約350人の市民に呼び掛けました。

秋空の下、校庭に子どもたちの歓声

9/15・22 市内各小学校運動会

市内各小学校で9月15日・22日、運動会が行われました。

15日に行われた、豊科南穂高の豊科北小学校(児童610人)では、カラフルな傘を使った2年生のダンスや、各学年代表によるリレーが行われました。

また、同日明科東川手の明北小学校(児童137人)では、赤白各チームの応援合戦や、5・6年生男子による組体操が行われました。各学校ではクラスの仲間や、家族からの声援を受け、子どもたちは、元気いっぱいの表現、競技を見せてくれました。



オフネを曳いてみよう

9/30 安曇野のお祭り展「プレイベント」

穂高神社の「御船祭り」で曳き回される、穂高区の子供船を曳くイベントが、9月30日に行われました。

このイベントは、普段一般の人が曳くことのない子供船をこの機会に曳き、地域の文化に親しんでもらおうと「安曇野のお祭り展」実行委員会が、特別展「安曇野のお祭りⅠ～オフネがつなぐ地域の輪～」のプレイベントとして企画したものです。

この日は、公募で集まった子どもや保護者のほか、地元の祭典奉仕団体「睦友社」の会員など約110人が参加。長さ約9メートル、高さ約4メートルの子供船を、穂高神社から旧道を通り、穂高交流学習センター「みらい」までの約1キロメートルを1時間ほど掛けて曳きました。曳行された子供船は、10月6日まで穂高交流学習センターのロビー横に設置されました。

家族と参加者した穂高北小学校4年生の若林大和くんは「暑くて疲れたけど、とても楽しかったです」と話してくれました。

なお、特別展は豊科郷土博物館と穂高交流学習センター「みらい」、豊科交流学習センター「きぼう」で10月20日から12月初旬まで開催しています。

秋の安曇野を駆け抜ける

9/15 第48回関東甲信越ブロックサイクリングラリー

第48回関東甲信越ブロックサイクリングラリーが9月15日、市内を中心に行われました。この催しはサイクリングと共に地元の文化などにも親しむことを目的としています。この日は全国から愛好家ら約300人が参加。出発地点のほりで一ゆ～四季の郷からわさび田はじめ市内を巡るコースなど3つのコースに分かれ、それぞれが秋空の安曇野を満喫しました。通算42回目の参加となる東洋一さん(群馬県桐生市)は「各県ごとのコースに特色があり毎年楽しみにしています。仲間との再会もうれしいです」と話してくれました。



安曇野の暮らしを体験

9/5 武蔵野市立第六中学校民泊体験

友好都市の東京都武蔵野市立第六中学校の生徒約80人が9月5日から9日まで4泊5日で市内を訪れ9月8日、一般家庭に泊まる民泊体験をしました。同校は平成9年から、同市の第五中学校は平成14年から毎年、市内で民泊体験、農業体験などを行っています。当初から受け入れている重柳区の小林誠さん宅では、生徒5人がソバ打ちなどを体験。班長の荒明日香さん(中1)は「そばをこねるのが大変でした」と体験の感想を話しました。小林さんは「わががらしい民泊体験を今後も続けていきたい」と話しました。来年度の民泊・農業体験の受け入れ先を募集しています。詳細はビレッジ安曇野(72・8568)まで。